

# 日亜が東大院に 寄付講座開設へ

日亜化学工業（阿南市）は東京大学大学院工学系研究科に来年から5年間、寄付講座を開設する。古澤明東大教授らによる光量子コンピューターの研究開発を支援するのが主な目的で、寄付総額は約億5千万円。同社と同研究科が4日発表した。

量子コンピューターは理論上、現在の半導体で電気信号を制御するコンピューターに比べて計算処理性能が飛躍的に高い。世界的にさまざまな方式で研究開発が進んでおり、古澤教授ら

新年度から

## 「光量子」の研究支援

は光のバルスを操作する独自の方式で実現を目指している。

寄付講座には古澤教授のほか、極めて正確な「光格子時計」を研究する香取秀俊東大教授らが携わり、光ファイバー網の通信容量に関し、現代技術の限界を超える研究にも取り組む。

都内の同大で記者会見した古澤教授は「5年後に光量子コンピューター開発のロードマップ（行程表）ができるようにしたい」と話した。

日亜は「光産業にかかわる企業として、量子技術によって実現される新たな光の性質に注目しており、今までにない研究テーマの発掘に期待している」としている。